



令和3年度第1回 富士山ごみ減量大作戦

富士山ごみ減量大作戦は、ふじさんネットワーク、静岡県、地元市町及び静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会との共催で実施しており、第1回を7月24日(土)に富士市桑崎で開催しました。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般ボランティアは募集せず、関係者のみでの実施となりました。

参加者15名で富士山こどもの国付近の道路沿いを清掃し、約160kg(可燃ごみ110kg、不燃ごみ50kg)回収しました。



荷台いっぱいの回収したごみ

今年度は、第2回目を11月に裾野市で、第3回目を富士宮市で開催予定です(10月末時点で時期は未定です)。ふじさんネットワーク事務局も、皆様と一緒に活動ができるようになることを願っています。

ボランテアを募っての開催は新型コロナウイルス感染症の県内警戒レベル等を考慮して可否を判断することになります。参加者募集が可能な状況になりましたら開催のお知らせをしますので、その際は奮ってご応募ください。



関係者による作業の様子



MN × REPORT



根原県有地の草原維持

富士山周辺には豊かな森林が広がっていますが、人為的に手入れされることで維持されてきた草原も存在するなど、多様な環境が自然を構成しています。

富士山根原にある根原県有地は、草原を維持するよう保全管理が行われており、静岡県版レッドデータブックの今守りたい大切な自然地域10選にも指定されている貴重な場所です。数百種類の植物が生息していたり、時期によってあらゆる方向から色々な鳥の鳴き声が聞こえてきたりと、様々な動植物の生息の場となっています。

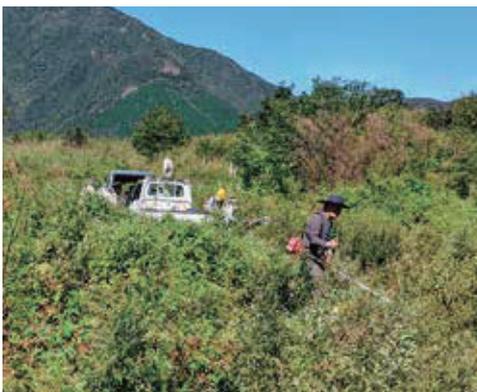


春の根原県有地と富士山

令和3年度の根原県有地の維持管理業務が、特定非営利活動法人富士山自然の森づくりの皆様によって行われており、人の背丈程に伸びた草木が刈られ、樹林化が防がれています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止になりましたが、令和3年度はボランティアの参加者を募集しての草刈体験を11月上旬に行うこととしました。

皆様の参加や理解を得て草原性植生の保全を進めていきたいと考えておりますので、(今年に限らず)参加者募集のお知らせが目に入りましたら、是非参加をご検討ください。



富士山自然の森づくりによる草刈作業状況

